

NPO法人 東北笑生会 第一回公演 気仙沼

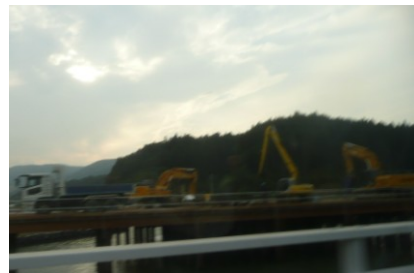
2015年10月24日～26日

仙台空港から気仙沼まで、車で移動。いまだ復興していない現状を目の辺りにする。

↓さんま船と網を修理する漁師の人たち

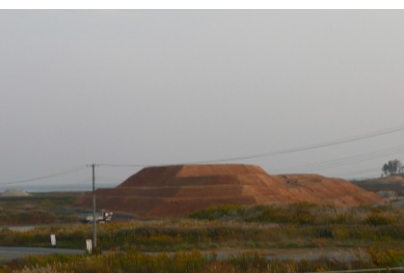


あちらこちらにパワーショベル↓



↑

「ボランティア延べ 450 人の方たちに手伝ってもらって再建しました」と手打ちそば“てらっばだけ”の店主語る。とてもおいしいおそばをいただきました。



↑南三陸防災対策庁舎跡 三階建て庁舎屋上から更に2mも上回る津波に襲われた。



↑地福寺前の“いのりの広場”

↑観光地岩井崎、みやげ物屋三軒あったところに一軒の食堂



↑気仙沼パークホテル4階から。

↑復興住宅建設中。

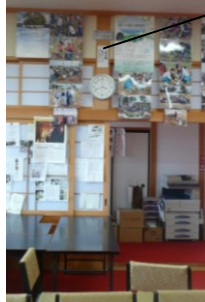
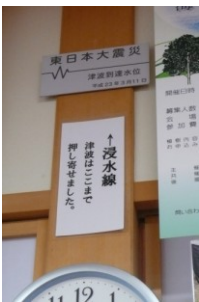
↑ホテル入り口段差注意！



第1会場 旧唐桑小学校・災害公営住宅集会所にて、午前中、折り紙教室を開く。サンタクロース、ツリー、そして、二羽がくっついている“つる”を折る。



プログラム：大阪と宮城の昔ばなし二話・落語 露の新治“つる”“相撲風景”・紙きり 三遊亭絵馬「つ～～～る～～」会場から声が～。大いに笑っていただきました。

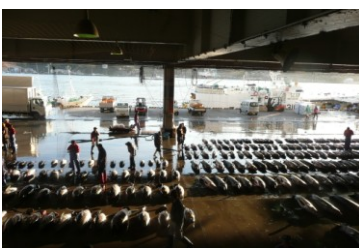


本堂の時計の上まで津波がおしよせました。



第2会場 地福寺 すばらしい舞台を地元の方が作ってくださいました。 ↑理事長と出演者

プログラム：大阪と宮城の昔ばなし二話・落語 露の新治“ごんべえ狸”“中村仲蔵”・紙きり 三遊亭絵馬



まぐろや鮫が並ぶ魚市場

↑津波はあの高さまで。

魚市場の陸側に防波堤予定の看板が。

被災地を訪れて、問題が山ほどあり、まだまだ復興が進んでいない現実を突きつけられました。でも、今回この公演に参加して、仮設住宅の人たちと一緒ににぎやかに折り紙を折り、子どもたちに語る予定だった昔ばなしを語りました。第2会場地福寺の地域では小さな子どもを含む 150 名以上の方が亡くなっておられて、昔ばなしを語った時、私はその子たちが聞きに来てくれたと感じました。そして、新ちゃんの落語に、絵馬さんの紙切りに、聞きに来て下さったみなさん、大きな声で笑っておられました。第1回公演の反省点はたくさんありますが、笑生会の目的、東北の方に笑っていただけました。「また来てね」とも言っていただきました。素直に受け取って、次回に臨みたいと思います。ありがとうございました。 報告 大阪府堺市 KC